

(参考) 県境地域振興 ビジョンデータ集

令和6年12月

豊築地域

豊築地域

〔豊前市、吉富町、上毛町、築上町〕



(参考) データ集

1 人口の減少

① 人口の推移

令和2年の国勢調査による豊築地域の総人口は55,367人で、平成12年の66,465人に比べ過去20年間で11,098人減少（▲16.7%）しており、いずれの市町においても人口減少が続いています。年齢別構成は、年少人口（0～14歳）は9,396人から6,566人と2,830人減少（▲30.1%）し、生産年齢人口（15～64歳）は40,802人から28,139人へと減少（▲31.0%）した一方、老年人口（65歳以上）は16,267人から20,423人と増加（+25.5%）しています。

さらに、老年人口のうち、後期高齢者は7,399人から10,948人と約1.5倍に増加（+48.0%）しており、総人口に占める割合については11.1%から19.8%と約2倍に増加しています。

○2000年と2020年の人口比較

(県全体)

	H12年(2000年)		R2年(2020年)		2020年/2000年 増減率(%)
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	
年少人口	742,740	14.8%	662,179	12.9%	▲10.8%
生産年齢人口	3,393,080	67.6%	2,911,353	56.7%	▲14.2%
老年人口	870,290	17.4%	1,395,142	27.2%	+60.3%
前期高齢者	506,078	10.1%	695,425	13.5%	+37.4%
後期高齢者	364,212	7.3%	699,717	13.6%	+92.1%
合計(総人口)	5,015,699	100.0%	5,135,214	100.0%	+2.4%

・老年人口の割合

17.4%(2000年)→27.2%(2020年) +9.8ポイント

(豊築地域)

	H12年(2000年)		R2年(2020年)		2020年/2000年 増減率(%)
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	
年少人口	9,396	14.1%	6,566	11.9%	▲30.1%
生産年齢人口	40,802	61.4%	28,139	50.8%	▲31.0%
老年人口	16,267	24.5%	20,423	36.9%	+25.5%
前期高齢者	8,868	13.3%	9,475	17.1%	+6.8%
後期高齢者	7,399	11.1%	10,948	19.8%	+48.0%
合計(総人口)	66,465	100.0%	55,367	100.0%	▲16.7%

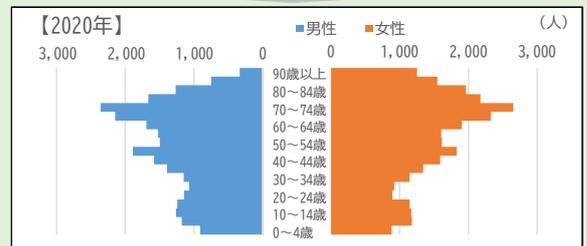
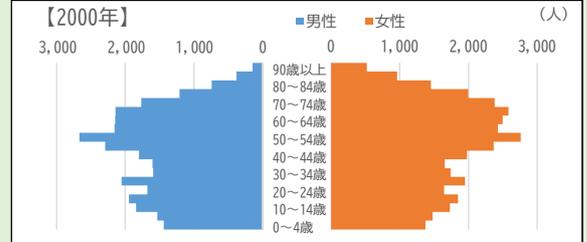
・老年人口の割合

24.5%(2000年)→36.9%(2020年) +12.4ポイント

出典：国勢調査

※年齢不詳があるため、合計が合わない箇所があります

○豊築地域の人口ピラミッド



出典：国勢調査

2

② 人口動態（自然増減・社会増減）

豊築地域の人口は、令和元年から令和5年の5年間で4,040人が減少しています。いずれも社会減より自然減の割合が高く、特に令和5年は自然減が約9割を占めます。



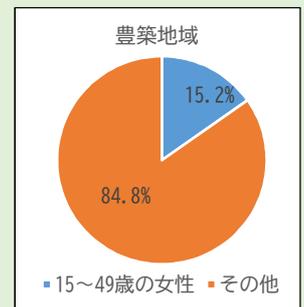
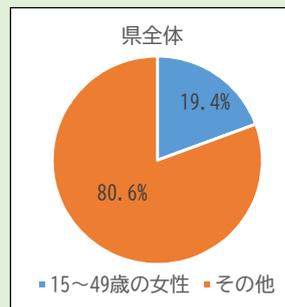
	R1年(2019年)		R2年(2020年)		R3年(2021年)	
	増減数(人)	比率(%)	増減数(人)	比率(%)	増減数(人)	比率(%)
自然増減	-543	62.3%	-509	70.8%	-539	63.9%
社会増減	-328	37.7%	-210	29.2%	-305	36.1%
合計	-871	100.0%	-719	100.0%	-844	100.0%

	R4年(2022年)		R5年(2023年)		計	
	増減数(人)	比率(%)	増減数(人)	比率(%)	増減数(人)	比率(%)
自然増減	-670	80.8%	-689	88.7%	-2,950	73.0%
社会増減	-159	19.2%	-88	11.3%	-1,090	27.0%
合計	-829	100.0%	-777	100.0%	-4,040	100.0%

出典：福岡県の人口と世帯年報

③ 15～49歳の女性人口の割合

令和5年10月1日現在での、総人口に対する15～49歳の女性の割合は、県全体（19.4%）に対し、豊築地域は15.2%と低く、少子化が県全体より加速する懸念があります。



R5年(2023年) 10月1日時点	総人口(人)	15～49歳の女性(人)	15～49歳の女性割合
県全体	5,106,912	989,818	19.4%
豊築地域	52,917	8,047	15.2%

出典：福岡県の人口と世帯年報

3

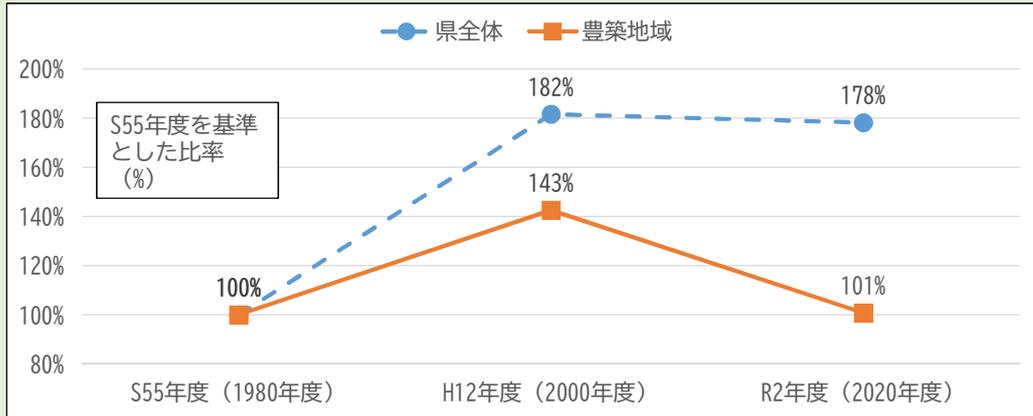
2 経済活動の縮小

④ 市町村民所得

過去40年間でみると、県全体は78.2%の増に対し、豊築地域は0.8%と増加率は大きく下回っています。また、過去20年間でみても、県全体が▲1.9%の減に対し、豊築地域は▲29.3%と、減少率は県全体と比べ約15倍となっています。

(単位 金額:億円)

	S55年度 (1980年度)	H12年度 (2000年度)	R2年度 (2020年度)	増減率	
				対1980年度比	対2000年度比
県全体	75,735	137,532	134,959	78.2%	▲1.9%
豊築地域	1,238	1,765	1,248	0.8%	▲29.3%



出典:福岡県「令和3(2021)年度県民経済・市町村民経済計算報告書」、「市町村民経済計算(平成8~12年度)(平成12年基準)」、「市町村民経済計算(昭和55~平成元年度)(平成2年基準)」

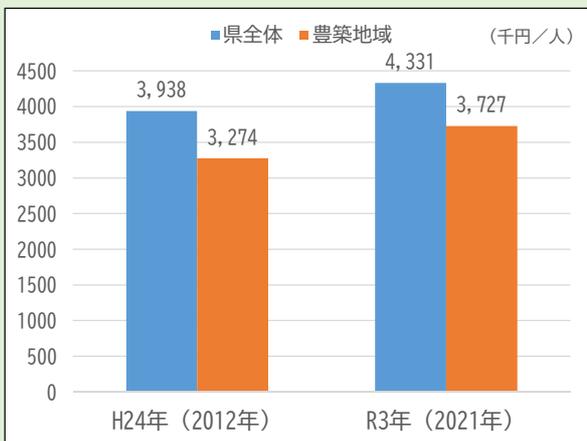
4

⑤ 労働生産性

労働生産性は県全体に比べ低いものの、増加率は豊築地域が高い状況です。

(単位 千円/人)

	H24年 (2012年)	R3年 (2021年)	増減率
			対2012年比
県全体	3,938	4,331	9.98%
豊築地域	3,274	3,727	13.84%



出典:総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

⑥ 農業・漁業

過去10年間における農業従事者数及び漁業就業者数の減少率は約4~5割と著しく減少しています。

○農業従事者数

(単位 人)

	H22年 (2010年)	R2年 (2020年)	増減率
			対2010年比
県全体	114,399	64,179	▲43.9%
豊築地域	6,386	3,220	▲49.6%

出典:農林水産省「農林業センサス」



○漁業就業者数

(単位 人)

	H22年 (2010年)	R2年 (2020年)	増減率
			対2010年比
県全体	4,607	3,194	▲30.7%
豊築地域	133	78	▲41.4%



出典:国勢調査

5

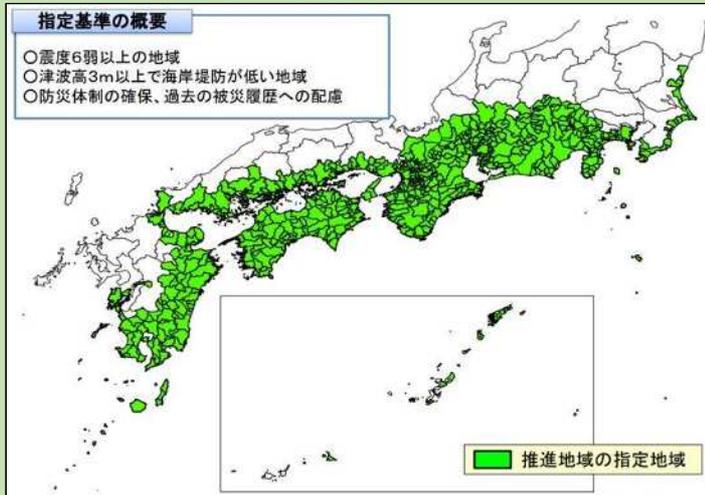
3 その他（自然災害、地域公共交通の維持等への対応）

⑦ 自然災害リスク

近年頻発する線状降水帯や今後発生が想定される南海トラフ地震等、甚大な被害をもたらす自然災害リスクが増大しています。

【南海トラフ地震】

豊築地域の3市町（豊前市、吉富町、築上町）は、津波高3m以上で海岸堤防が低い地域として南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されている。



南海トラフ地震防災対策推進地域



平成30年7月豪雨に伴う東九州自動車道の全面通行止め



一級水系 山国川



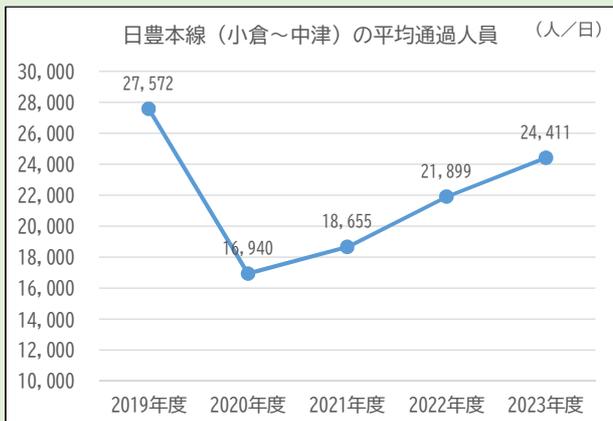
山国川圏域流域治水ロゴマーク

⑤ 地域公共交通

鉄道利用者は、人口減少やコロナウイルス感染症の影響により減少したまま回復していません。

○日豊本線利用状況

	平均通過人員（人/日）					2019年度と2023年度の比較増減率
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
日豊本線（小倉～中津）	27,572	16,940	18,655	21,899	24,411	▲11.5%



出典：JR線区別ご利用状況

⑥ 有害鳥獣被害

野生鳥獣による農林水産物被害について、狩猟者の減少、単自治体による捕獲の限界、処理施設の不足といった様々な課題があります。

○豊築地域の農林水産物被害額

（単位 千円）

種類	年度	R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)	R5年度 (2023年度)
農作物		30,630	29,344	26,704
林産物		3,292	3,145	1,872
水産物		0	0	0
総計		33,922	32,489	28,576

出典：各圏域自治体集計

○福岡県の狩猟者登録者数の推移（福岡県第二種特定鳥獣（イノシシ）管理計画）

（単位：人）

	H25年 (2013年)	H26年 (2014年)	H27年 (2015年)	H28年 (2016年)	H29年 (2017年)	H30年 (2018年)	H31年 (2019年)	R2年 (2020年)
網猟	25	22	23	21	35	40	40	42
わな猟	1,383	1,427	1,465	1,508	1,585	1,557	1,553	1,589
銃猟	1,710	1,658	1,620	1,603	1,540	1,484	1,449	1,373
総数	3,118	3,107	3,108	3,132	3,160	3,081	3,042	3,004

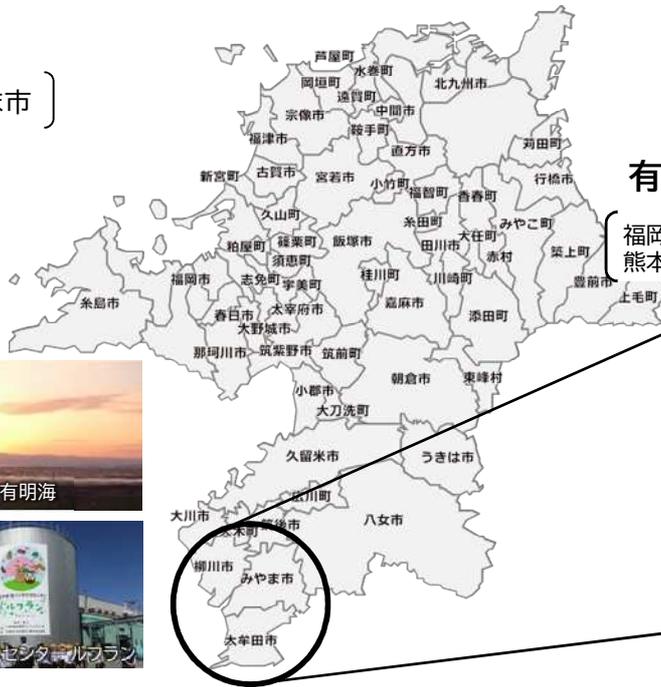
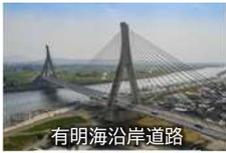


有害鳥獣による農作物の被害

有明地域

有明地域

〔大牟田市、柳川市、みやま市〕



有明圏域定住自立圏

〔福岡県：大牟田市、柳川市、みやま市
熊本県：荒尾市、南関町、長洲町〕



(参考) データ集

1 人口の減少

① 人口の推移

令和2年の国勢調査による有明地域の総人口は211,617人で、平成12年の261,949人に比べ過去20年間で50,332人減少(▲19.2%)しており、いずれの市においても人口減少が続いています。年齢別構成は、年少人口(0~14歳)は37,331人から23,818人と13,513人減少(▲36.2%)し、生産年齢人口(15~64歳)は162,229人から109,251人へと減少(▲32.7%)した一方、老年人口(65歳以上)は62,240人から76,619人と増加(+23.1%)しています。

さらに、老年人口のうち、後期高齢者は27,976人から40,275人と約1.4倍に増加(+44.0%)しており、総人口に占める割合については10.7%から19.0%と約2倍に増加しています。

○2000年と2020年の人口比較
(県全体)

	H12年(2000年)		R2年(2020年)		2020年/2000年 増減率(%)
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	
年少人口	742,740	14.8%	662,179	12.9%	▲10.8%
生産年齢人口	3,393,080	67.6%	2,911,353	56.7%	▲14.2%
老年人口	870,290	17.4%	1,395,142	27.2%	+60.3%
前期高齢者	506,078	10.1%	695,425	13.5%	+37.4%
後期高齢者	364,212	7.3%	699,717	13.6%	+92.1%
合計(総人口)	5,015,699	100.0%	5,135,214	100.0%	+2.4%

・老年人口の割合
17.4%(2000年)→27.2%(2020年) +9.8ポイント

(有明地域)

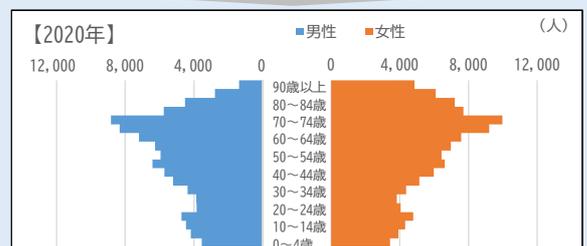
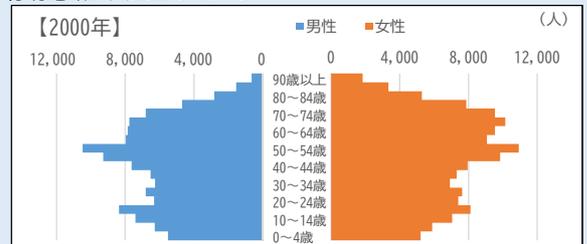
	H12年(2000年)		R2年(2020年)		2020年/2000年 増減率(%)
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	
年少人口	37,331	14.3%	23,818	11.3%	▲36.2%
生産年齢人口	162,229	61.9%	109,251	51.6%	▲32.7%
老年人口	62,240	23.8%	76,619	36.2%	+23.1%
前期高齢者	34,264	13.1%	36,344	17.2%	+6.1%
後期高齢者	27,976	10.7%	40,275	19.0%	+44.0%
合計(総人口)	261,949	100.0%	211,617	100.0%	▲19.2%

・老年人口の割合
23.8%(2000年)→36.2%(2020年) +12.4ポイント

出典：国勢調査

※年齢不詳があるため、合計が合わない箇所があります

○有明地域の人口ピラミッド



出典：国勢調査

② 人口動態（自然増減・社会増減）

有明地域の人口は、令和元年から令和5年の5年間で15,372人が減少しています。いずれも社会減より自然減の割合が高く、特に令和5年は自然減が約8割を占めます。



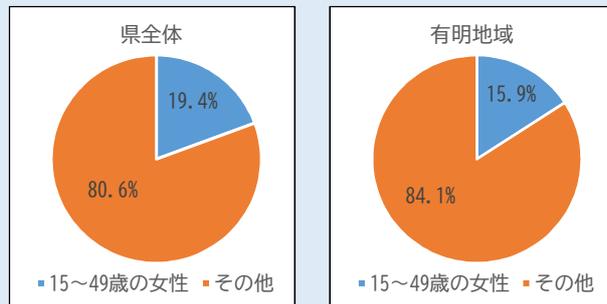
	R1年 (2019年)		R2年 (2020年)		R3年 (2021年)	
	増減数 (人)	比率 (%)	増減数 (人)	比率 (%)	増減数 (人)	比率 (%)
自然増減	-2,118	70.5%	-2,042	72.1%	-2,066	66.9%
社会増減	-886	29.5%	-791	27.9%	-1,024	33.1%
合計	-3,004	100.0%	-2,833	100.0%	-3,090	100.0%

	R4年 (2022年)		R5年 (2023年)		計	
	増減数 (人)	比率 (%)	増減数 (人)	比率 (%)	増減数 (人)	比率 (%)
自然増減	-2,522	80.9%	-2,709	81.4%	-11,457	74.5%
社会増減	-597	19.1%	-617	18.6%	-3,915	25.5%
合計	-3,119	100.0%	-3,326	100.0%	-15,372	100.0%

出典：福岡県の人口と世帯年報

③ 15～49歳の女性人口の割合

令和5年10月1日現在での、総人口に対する15～49歳の女性の割合は、県全体（19.4%）に対し、有明地域は15.9%と低く、少子化が県全体より加速する懸念があります。



R5年（2023年） 10月1日時点	総人口 (人)	15～49歳の 女性 (人)	15～49歳の 女性割合
県全体	5,106,912	989,818	19.4%
有明地域	202,082	32,049	15.9%

出典：福岡県の人口と世帯年報

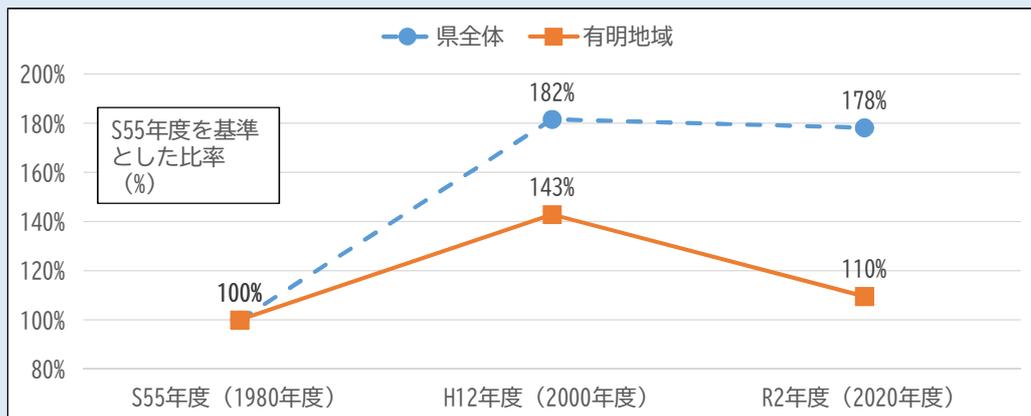
2 経済活動の縮小

④ 市町村民所得

過去40年間でみると、県全体は78.2%の増に対し、有明地域は9.6%と増加率は大きく下回っています。また、過去20年間でみても、県全体が▲1.9%の減に対し、有明地域は▲23.3%と、減少率は県全体と比べ約10倍となっています。

(単位 金額:億円)

	S55年度 (1980年度)	H12年度 (2000年度)	R2年度 (2020年度)	増減率	
				対1980年度比	対2000年度比
県全体	75,735	137,532	134,959	78.2%	▲1.9%
有明地域	4,166	5,955	4,566	9.6%	▲23.3%



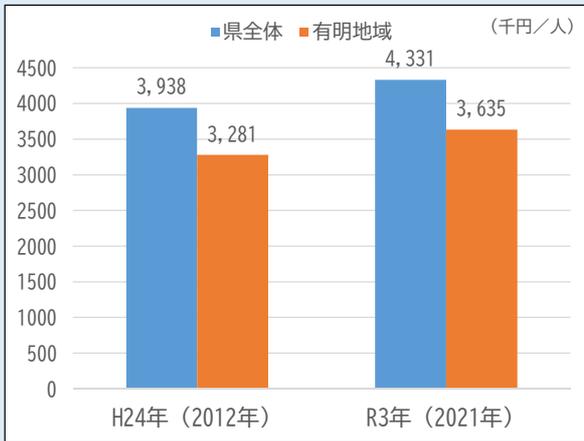
出典：福岡県「令和3（2021）年度県民経済・市町村民経済計算報告書」、「市町村民経済計算（平成8～12年度）（平成12年基準）」、「市町村民経済計算（昭和55～平成元年度）（平成2年基準）」

⑤ 労働生産性

労働生産性は過去10年で伸びているものの、県全体に比べ低い状況です。

(単位 千円/人)

	H24年 (2012年)	R3年 (2021年)	増減率
			対2012年比
県全体	3,938	4,331	9.98%
有明地域	3,281	3,635	10.79%



出典：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

⑥ 農業・漁業

過去10年間における農業従事者数及び漁業就業者数の減少率は約3～4割と著しく減少しています。

○農業従事者数

(単位 人)

	H22年 (2010年)	R2年 (2020年)	増減率
			対2010年比
県全体	114,399	64,179	▲43.9%
有明地域	8,596	4,819	▲43.9%

出典：農林水産省「農林業センサス」

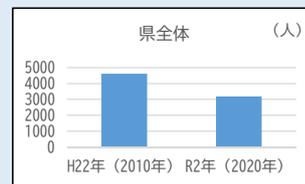


○漁業就業者数

(単位 人)

	H22年 (2010年)	R2年 (2020年)	増減率
			対2010年比
県全体	4,607	3,194	▲30.7%
有明地域	1,615	1,095	▲32.2%

出典：国勢調査



3 その他（自然災害、地域公共交通の維持等への対応）

⑦ 自然災害発生状況

筑後地域では2017年（平成29年）から2022年（令和4年）を除き毎年、豪雨・大雨による重大な被害が発生しています。

(単位 件)

	H29年度 (2017年度)	H30年度 (2018年度)	R1年度 (2019年度)	R2年度 (2020年度)	R3年度 (2021年度)
人的被害	60人	1人	2人	13人	1人
住家被害	1,641棟	2,141棟	979棟	4,214棟	1,644棟
道路被害	535箇所	676箇所	471箇所	903箇所	361箇所
橋梁被害	88箇所	2箇所	2箇所	7箇所	2箇所
河川被害	380箇所	154箇所	192箇所	300箇所	87箇所

出典：福岡県災害年報



令和2年7月豪雨の浸水状況

⑧ 地域公共交通

長期的な利用者の減少を背景とした収支の悪化や運転手不足による、バス路線の廃止や減便等が発生しています。

【路線バス】

2021年度～2023年度 廃止路線数（有明地域）：2路線

【鉄道】

鉄道利用者は、人口減少やコロナウイルス感染症の影響により減少したまま回復していません。

	平均通過人員 (人/日)					2019年度と 2023年度の比 較増減率
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
鹿児島本線 (久留米～大牟田)	8,391	5,877	6,384	6,930	7,096	▲15.4%



出典：J R 線区別ご利用状況

⑨ 有害鳥獣被害

有害鳥獣による農林水産物被害について、狩猟者登録手数料の過大な負担や高齢化の進行による狩猟者の不足、単独自治体による捕獲の限界といった様々な課題があります。

○有明地域の農林水産物被害額

(単位 千円)

種類	年度	R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)	R5年度 (2023年度)
農作物		70,764	71,260	74,979
林産物		2,298	2,687	676
水産物		58,095	53,855	47,843
総計		131,157	127,802	123,498

出典：各圏域自治体集計



有害鳥獣による農作物の被害

⑩ 有明海の環境変化

ノリ養殖の採苗日は、海水温23℃を下回った時期に行われますが、秋季の水温低下の遅れにより、採苗日も10月上旬から10月下旬に遅れています。

	採苗日
H11～H20年	10月10日ごろ
H21～H30年	10月18日ごろ
R元～R6年	10月24日ごろ



ノリの採苗